

事務事業名	三つ子の魂育成推進懇談会議運営事業				担当	健康福祉部 三つ子の魂育成推進室	
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8157	
施策名	2	子育て支援の充実			☐ 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	☐ 単年度のみ	
法令根拠	三つ子の魂育成懇談会設置要綱					☒ 単年度繰返（開始年度 13 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	2児童福祉費	1児童福祉総務費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	三つ子の魂の育成について、有識者から広く意見を求め、本市の三つ子の魂育成の推進を図るために、懇談会議を設置した。 懇談会議の開催は、市長が必要なときに招集し、委員は開催することに有識者の中から市長が若干名を依頼して組織する。 懇談会議は、委員の互選により座長を置き、議長となって懇談会議を主宰する。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 27年度実績 ・市内の幼児教育関係者を対象に、三つ子の魂育成事業内容の紹介をするとともに、子育て保育者への働きかけについての意見を求め、今後の事業推進の参考とした。 28年度計画 ・前年度と同様				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(見込) ア 懇談会議の開催数 回 1 0 1 1 1 イ ウ エ オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・懇談会議委員				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(見込) ア 懇談会議委員数 人 21 0 22 21 22 イ ウ エ オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・懇談会議を開催し、三つ子の魂育成を推進していくための適切な意見を出してもらい、今後の事業推進の参考とする。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(見込) ア 事業に出された意見数 件 34 0 15 11 11 イ ウ エ オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・出された意見を参考に、三つ子の魂育成事業を推進し、心身ともに健全な子どもの育成を図る。				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(見込) ア 三つ子の魂育成事業に参加している人 人 2,390 2,881 2,918 2,542 2,700 イ ウ エ オ						
(2) 総事業費の推移				単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	84	0	80	58	76	
			事業費計（A）	千円	84	0	80	58	76	
	人件費		正規職員従事人数	人	2	0	2	2	2	
			延べ業務時間	時間	120	0	120	120	120	
			人件費計（B）	千円	504	0	507	503	503	
トータルコスト(A)+(B)			千円	588	0	587	561	579		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		平成13年に子育て関係者や有識者等の意見を三つ子の魂育成事業に反映させ、事業の推進を図るため開始された。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？										
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		・子育て親子の実態が把握でき、子育て環境の改善の必要性を感じた。（委員） ・どの圏（所）でも同じような問題点を抱えていることが分かった。（委員）								

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	☒ 結びついている ☐ 見直し余地がある 意見交換を行うことは、推進事業の方向性を決定する上で、三つ子の魂育成推進事業に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある 運営事業として、開催する懇談会であるので三つ子の魂育成推進に懇談会の開催は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	☒ 適切である ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある 懇談会委員を、毎年度事業推進目的にあわせて依頼しているので三つ子の魂育成事業を推進していく上で適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある 推進目的ごとに委員の選出を行い、十分な意見交換ができていますので向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響がある ☐ 影響がない 休止した場合、委員の意見交換ができず今後の推進事業の方向性決定に影響がでる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	☐ 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） ☒ 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	☐ 他の事業と統合・連携ができる ☐ 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 必要最小限の経費で運営しているので削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 必要最小限の人件費で開催しているため、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	☒ 公正・公平である ☐ 見直し余地がある テーマにあわせて委員を依頼しているので公正、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（ ☐ ：目的妥当性 ☐ ：有効性 ☐ ：効率性 ☐ ：公平性） ☐ 統合 ☒ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足（説明責任不充分） ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																								